

放射線診断センター特集 CT

新任医師のご紹介

院内の感染対策の強化

地域医療支援病院承認

認定看護師コラム

Let's COOKING! From 栄養課

診療所ご紹介

Topics / INFORMATION



放射線診断センター特集

最新のCTで、 被ばくの低減、短時間での画像診断が 可能になりました

昨年11月に放射線診断センターを新設し、CT、MRI、アンギオ装置(血管造影装置)などの検査機器が新しくなりました。

今号では、新機器のCTについて、特長や新しい装置に替わったメリットをご紹介します。

|| CTは放射線を利用して断層画像を得る検査

病気の診断や治療方針の決定において、画像診断は大きな役割を担っています。その検査には主にCTとMRIがあります。どちらも寝台に仰向けに寝て、ドーナツ型の装置に入り検査を受けます。2つの大きな違いは撮影技術です。CTは放射線を利用し、回転させながら全方位から照射し、撮影したデータを

コンピュータで処理して輪切りの断層画像を作ります。一方、MRIは強力な電波で体内にある水素に作用させて断層を撮影します。

CTは頭からつま先まですべて撮影できる、いわば万能選手。撮影の間は患者さんに一定時間息止めをしていただく必要がありますが、数十秒という短時間で終わります。常に動いている心臓などの検査が得意で、骨など水分が少ない箇所の画像診断にも有効です。ただし放射線を使うため、多少なりとも被ばくがあります。

ちなみに、CTを発明したのはイギリスのハンスフィールドと言われていますが、それ以前に日本人の故高橋信次教授(名古屋大学)が同様の原理を世界に先駆けて考案されました。

|| より短時間で広範囲を撮影し、 患者さんの負担を軽減

新しく導入したCTは、従来の装置より様々な機能が向上しています。まず検査にかかる時間が短くなりました。検出器が64列から80列に増えて瞬時に広範囲の撮影が可能になり、撮影するための息止め時間がより短時間で済むため、患者さんの負担が軽減されました。また、コンピュータの画像解析速度も向上し、撮影してから画像ができあがるまでの時間が短縮されました。それらにより、より多くの患者さんの画像診断を行えるようになり、救急にも迅速に対応できます。



副院長 兼 放射線科部長

堀 浩

Hiroshi Hori

日本医学放射線学会放射線専門医



より明瞭な画像で、正確な診断が可能

画像の質も向上しています。放射線を照射する装置は1周約0.35秒で回転し、このスピード自体はあまり変わっていませんが、回転の安定度が増し、非常にきれいな画像が撮れます。特に心臓冠動脈の検査は詳細な冠動脈の狭窄や壁不整の評価が必要なのですが、それが可能となりました。

また、体内に人工関節やペースメーカー、歯の治療で金属などの詰め物があると画像に異常が見られます。しかしそれらの障害を低減させる処理も搭載されているため、非常に明瞭な画像が得られます。

造影剤の副作用やペースメーカーの誤作動に注意

一方で注意が必要なのは、造影剤を使った撮影です。画像を見やすくし、正確な診断をするために造影剤を点滴する場合があります。軽度のアレルギー症状としてじんましんや、ごくまれにアナフィラキシーショックが起きます。また、ペースメーカーやインスリンポンプを使用されている場合は、放射線が照射されると誤作動を引き起こす恐れがあります。いずれも医師が適切に判断し、説明した上でいきますから、安心して検査に臨んでいただけます。

被ばくは2/3に低減、安心して検査を

CTを受ける患者さんが特に心配されることは、被ばく量だと思います。なかには、レントゲンをした後にそれほど間を開けずにCTを行う患者さんもおられます。確かに単純なレントゲンよりCTは被ばく量は多いですが、人体に障害が出る線量ではありません。しかもこの新しい装置では、被ばく量は従来装置と比較し約2/3まで低減しています。

また、これまでCTを受けることが難しかった大柄な体格の患者さんも、装置の口径の大型化で対応できるようになりました。少しでも不安なことがあればご相談いただき、安心して検査を受けてください。



入職式

フレッシュな顔ぶれが揃いました

今年度も当院では、大勢の職員を迎え入れることができました。元気で明るい新職員たちの活躍により、当院もより活気に溢れることと思います。これから研修の後、各々の部署に配属されます。初志貫徹の精神で地域の皆様へ貢献できるように頑張ってください。どうぞよろしくお願いいたします。
※入職式は感染症対策を十分に行った上、開催いたしました。

新任医師のご紹介 新しく着任しました

消化器内科

碓山 直邦 Naokuni Sakiyama

日本内科学会総合内科専門医
日本内科学会認定内科医
日本消化器病学会消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
がんのリハビリテーション研修会修了



4月より勤務させていただいております。大学卒業後は主に三次救急病院である京都第二赤十字病院で研鑽を積み、上下部消化管疾患、肝・胆道系疾患を含め幅広く診療してまいりました。特に昨今増加の一途である炎症性腸疾患を専門としております。患者さんの社会的背景にも寄り添いながら診療に当たっていきたくと考えております。何卒よろしくお願いいたします。

消化器内科

菊谷 聡 Satoru Kikutani

4月より勤務させていただいております。消化器内科医として内視鏡検査や外来診察を中心に診療してまいりました。消化器疾患は日常生活を送る上でQOLを低下してしまう疾患が多く、早期治療が大切と考えます。些細なことでも気軽に相談ください。何事にも誠心誠意で努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



循環器内科

櫛山 晃央 Akihiro Kushiyama

日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医
日本心エコー図学会SHD心エコー図認証医



4月より赴任してまいりました櫛山と申します。高槻は生まれ育った街であり、ここで医師として働けるのも何かの縁と感じております。循環器内科が専門ですので、動悸、息切れ、呼吸苦、浮腫などありましたら気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。

外科

平本 秀一 Hidekazu Hiramoto

日本外科学会外科専門医
日本消化器外科学会消化器外科専門医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医



4月より外科で勤務させていただいております。今までは京都、滋賀での勤務で消化器がんの悪性疾患から胆石症やヘルニア、痔などの良性疾患まで幅広く担当してきました。これまでの経験を活かしてそれぞれの患者さんに適した治療を行えるように努めてまいります。些細なことでもお気軽にご相談していただけたらと思います。

消化器内科部長 兼 内視鏡センター長

占野 尚人 Naoto Shimeno

日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医
日本消化器病学会消化器病専門医
日本内科学会総合内科専門医



みどりヶ丘病院消化器内科に着任しました占野尚人と申します。1998年京都大学卒業後、天理よろづ相談所病院、西神戸医療センター、神戸市立医療センター中央市民病院と勤務し、今回こちらにお世話になることになりました。特に消化器内視鏡診断、治療(がんの内視鏡切除)を専門としています。未永くよろしくお願いいたします。

消化器内科

中田 智之 Satoshi Nakata

日本内科学会認定内科医
日本消化器病学会消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医



みどりヶ丘病院消化器内科の中田智之と申します。ほとんどの場合「ともゆき」と言われますが、実はこの漢字で「さとし」と読みます。以前は5年ほど京都の音羽病院にて医療を行ってまいりました。このたび4月よりみどりヶ丘病院の消化器内科に赴任し勤務しております。高槻の地域医療に貢献できるよう努力いたしますので、消化器のことは何でもご相談ください。何卒よろしくお願いいたします。

循環器内科

田川 庄督 Shotoku Tagawa

日本内科学会認定内科医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医
日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士



4月よりみどりヶ丘病院に勤務する循環器内科の田川庄督です。循環器の診療内容としては一般循環器内科に加え冠動脈及び下肢動脈に対するカテーテル治療、またペースメーカー植え込みを行っています。丁寧でわかりやすい診療を心がけていきますので、よろしくお願いいたします。

小児科 部長

中島 久和 Hisakazu Nakajima

日本小児科学会小児科専門医・指導医
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医・指導医
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医
京都府立医科大学小児科学特任講師



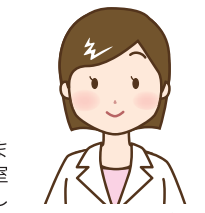
京都府立医科大学附属北部医療センターから赴任してまいりました。小児科一般診療のほか、小児内分泌の領域を専門としています。背の低いお子さん、肥満で困っているお子さん、思春期が遅い(あるいは早い)お子さんなどの小児内分泌疾患が疑われるお子さんの相談を得意としています。地域の皆様から信頼を得、気軽に受診していただけるように、丁寧な診療・分かりやすい説明を心がけたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

麻酔科

竹村 瞳 Hitomi Takemura

日本麻酔科学会麻酔科専門医

4月より麻酔科で勤務させていただいております。これまで地域の病院や大学病院で手術室麻酔全般を専門に診療にあたってまいりました。全身麻酔を受けられる患者さんの不安や痛みを少しでも和らげられるような麻酔を提供できたらと思っています。



院内の感染対策の強化に努めています

当院では、新型コロナウイルス感染症対策として、以下のとおり院内の環境整備を行っています。

- ① 病院の出入り口を1か所に限定※
- ② 正面玄関解錠時間を午前8時からに変更
- ③ 来院時のサーモカメラによる検温
- ④ 院内の光触媒コーティングによるウイルス対策(写真①)
- ⑤ 高性能空気清浄機(HEPAフィルター付)の設置(写真②)
- ⑥ アクリルプレート設置による飛沫感染の防止(写真②)
- ⑦ 待合室や診察室などの消毒

※8:00～21:00は正面玄関のみ出入り可能。21:00～翌8:00は正面玄関を施錠しております。夜間通用口をご利用ください。



(写真①)



(写真②)

昨年12月より、感染が疑われる方を安全に診療することができる「高槻市地域外来・検査センター」が稼働しています。検温や問診によって感染が疑われる患者さんは、センターにご案内し、診療を行います。診察室内は陽圧化されており、高い清浄度を保つことができます。患者さんが可能な限り他の方と接触しない動線を整えており、最大限の感染対策を行っています。

地域医療支援病院の承認を受けました

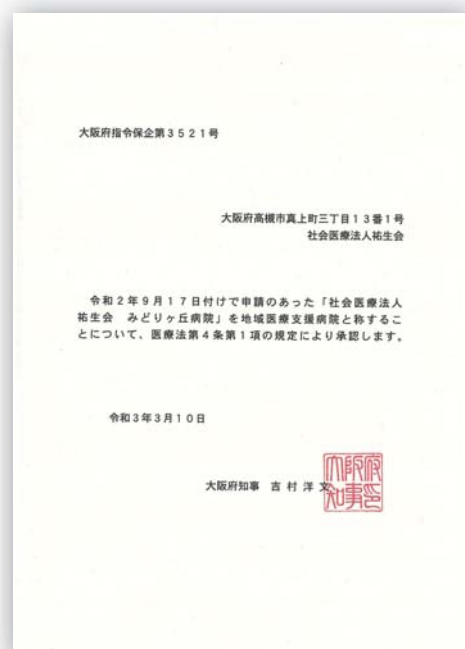
当院は、2021年3月10日付で地域医療支援病院の承認を受けました。地域の先生方や医療機関との連携をこれまで以上に強化し、患者さんに適切な医療をより効率的に提供いたします。

診療をスムーズに行うために、**受診時にはかかりつけ医からの紹介状(患者さんの病歴や投薬内容等の情報が記載されている診療情報)をご提出ください。**

MEMO

地域医療支援病院

医療施設機能の体系化の一環として、患者さんに身近な地域で医療が提供されることが望ましいという観点から、地域のかかりつけ医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る施設としてふさわしい構造設備等を有する病院のことを言います。



一次救命処置(BLS)の重要性

～大切な人の命を守るために必要な勇気～



救急看護認定看護師 林 直美

一次救命処置とは、心停止を早期に判断し蘇生を行うことです。倒れている人を発見したらまず呼びかけてみて、反応がない場合には救急要請し、その後、呼吸をしていないようなら直ちに心臓マッサージをします。救急車が到着するまでにこの処置を行っている場合とそうでない場合では、蘇生率が大きく変わってくると言われています。不整脈などによる心停止の場合には早期にAEDを使用して電気ショックを行うことも蘇生につながります。東京マラソンでの心停止例で、早期に一次救命処置を行い、AEDによる電気ショックが行われた結果、助かった芸能人の方もいましたよね。倒れるのはもしかしたらあなたの大切な人かもしれません。今はコロナ渦で、誰が感染者なのか分からないため、むやみに心臓マッサージをすると飛沫による感染のリスクがあります。それよりはAEDを使用して早期に電気

ショックだけでも行う方がよいと言われています。なお、AEDでショックを行う前に傷病者の口と鼻を布（ハンカチでもマスクでも何でも良い）で覆うことが感染拡大の予防になります。このような注意点も市などの講習会で教えてくれます。現在はコロナ渦で講習会も減っていますが、動画やWebでの講習もあります。一次救命処置やAEDの講習を受けて、大切な人を守るために備えることは大切です。

皆さんも大切な人を救うため、一歩踏み出す勇気を持ってみませんか。



Let's COOKING! From 栄養課

春野菜のポトフ

5月は紫外線が強くなる季節

紫外線に当たると、肌を守るためにビタミンの消費量が増えるため、不足しやすくなります。旬の野菜にはビタミンが多く含まれているので、しっかり野菜を摂ってビタミン不足を予防しましょう！



1人当たりエネルギー量…140kcal
たんぱく質…11.9g 脂質…2.8g 塩分…1.2g

材料 (1人分)

鶏モモ肉(皮なし) … 50g	コンソメ …………… 2g
ジャガイモ …………… 60g	水 …………… 80g
キャベツ …………… 60g	食塩 …………… 0.2g
人参 …………… 20g	こしょう …………… 少々
ブロッコリー …………… 10g	

作り方

- ①材料を食べやすい大きさに切る。
- ②鍋に水とコンソメを入れ火にかける。
- ③沸騰したら①を入れ、蓋をして具材が柔らかくなるまで煮込む。
- ④塩こしょうで味を調える。

MEMO

ジャガイモやブロッコリーには抗酸化作用のあるビタミンCが多く含まれています。また、人参に含まれるビタミンAには粘膜や皮膚を守るのを助けてくれる作用があります。

抗酸化作用:皮膚や体内の酸化を防ぐ作用。ビタミンAのもととなるβカロテンやビタミンC、Eは酸化を防ぐ作用を持っているので、老化防止にもおすすめです。

診療所 ご紹介

当院では地域の開業医の先生方と緊密に結びつき、大切な患者さんの紹介や逆紹介などの連携を行っています。ここではスムーズな情報共有によって当院と共に地域の医療を支える「医療連携協力機関」の皆さんをご紹介します。

中村整形外科

院長 中村 昭文



〒569-1034 大阪府高槻市大蔵司2-53-8
TEL 072-687-6796

診療時間 9:00~12:00、16:00~19:00

休診/水曜日・土曜日の午後および日曜日・祝日
※事情により休診になる場合があります。

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~nakamuraseikei/>

■診療をはじめた経緯は？

当院は1971年に先代の院長が高槻市大蔵司の地に中村整形外科を開院し、2009年より私、中村昭文が医院を継承し診療を行っています。

■ご専門分野について

整形外科を中心に、可能な範囲で外科処置等にも対応しています。

■地域のかかりつけ医としての想い

当院では受診患者さんの病状に対する考えを出来る限り共有させていただき、限られた設備での対応を日々熟考し、治療しております。しかしながら対応困難な症例の発生の際にはみどりヶ丘病院にご連絡し、迅速なサポートをいただいております。感謝していること多くです。

■メッセージ

クリニックとして限られた設備・室内面積ではございますが、診察に必要な各種検査・治療機器（レントゲン・骨密度測定装置・超音波診断装置・骨癒合促進目的の低出力超音波刺激装置・リハビリ機器等）を配備しています。また、患者さんの情報共有を迅速に執り行うためにスタッフ同士での活発な意見交換などに努めています。

Topics

みどりヶ丘ヘルスケアグループ 救急救命士初入職

2020年12月1日、みどりヶ丘病院に救急救命士4名が入職しました。一般的に知られている救急救命士は、消防署に勤務し、救急車による病院までの救護を担っていますが、近年、救急救命士を配置する病院が増えてきています。当院では、救急患者受け入れから検査・処置・入院または関連施設や病院間の救急搬送までを担います。他部署と連携を取り、より迅速かつ適切な医療を提供できるように取り組んでいきたいと思っております。



たくさんのお心遣い、本当にありがとうございます！

園児たちから「応援メッセージ」が届きました。

学校法人成城学園認定こども園日吉幼稚園の皆様より、たくさんの応援メッセージが届きました。新型コロナウイルス感染症禍で対応する医療従事者へエールを送りたいとのことから、感謝の気持ちを込めて作成していただきました。皆様のあたたかなお心遣いに職員一同、感謝申し上げます。



株式会社コーセー様より、化粧品のギフトをご寄付いただきました。

株式会社コーセー様では、新型コロナウイルス感染症対応をしている職員を支援するプロジェクトを行ってくださっており、当院に化粧品のギフトが届きました。早速当院職員に配付させていただきました。職員からは「すごく嬉しいです!!」と喜びの声が上がりました。職員一同、感謝申し上げます。

高槻市立第二中学校 生徒会様より うちわを寄贈いただきました。

高槻市立第二中学校の生徒会の皆様より、医療従事者支援活動としてうちわを寄贈いただきました。うちわには「コロナに負けないまちづくり！」と熱いメッセージが記されており、当院職員の日々の業務の励みになると感じています。

生徒会の皆様、関係者の皆様に職員一同、感謝申し上げます。



編集後記

温かく身近に感じることができる広報誌にしていきたいとの考えから、表紙を柔らかい手描きのイラストにしました。手書きのイラストになったことで、とてもやさしい印象になったのではと感じております。今後も皆様の目線に立ち、当院のことを知っていただけるように頑張っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

POST ご意見・ご感想・お問い合わせはこちらまで

病院広報
電話番号

072-681-5764



midori-info@midorigaoka.or.jp

